

愛知県のがん登録

加藤 昌弘*

1. 概略

愛知県は人口約 690 万人、県庁所在地の名古屋市 16 区その他、県下 87 市町村を有する中部・東海地方の中核県である。愛知県では、がん対策におけるがん罹患の実態把握を目的として、昭和 37(1962)年に愛知県悪性新生物患者届出要綱が制定され、これを受けて、愛知県がん登録事業が開始された。設立当初より、愛知県がん登録は、県衛生部の直営事業として運営されているが、昭和 58(1983)年からは、愛知県がんセンター研究所疫学部の支援を受けている。また、昭和 59(1984)年からは県や市の医師会、大学病院などをはじめとした関連組織の代表者からなる評価部会による定期的な評価を受けながら、日常の罹患

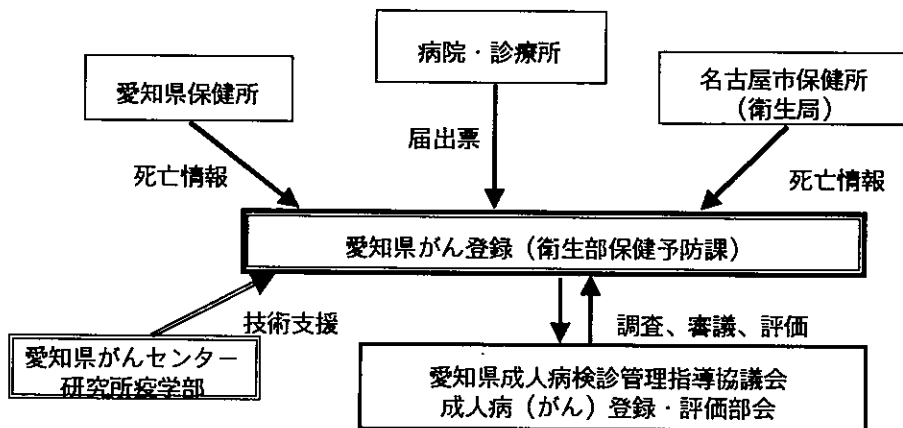
集計解析業務を行い、現在に至っている。

2. 実施方法(図1、表1)

愛知県がん登録では、愛知県悪性新生物患者届出要綱に基づき、愛知県内の医療機関に対し、がん患者の原発部位などに関する医療情報の届出を要請している。届出は原則として、届出票による医療機関からの自主届出のみに依存しており、届出もれ患者についての督促や出張採録は現在実施していない。

届出された新規報告は、コード化、一括電算処理によるデータチェック及び重複届出照合等の点検修正を経て、愛知県がん登録データベースに登録され、さらに、死亡票との照合により DCN 割

図1. 愛知県がん登録システム概略図^註



注:1998年まで。1999年より新システム稼働。

*愛知県衛生部保健予防課 課長

〒460-8501 名古屋市中区三の丸 3-1-2 TEL 052-961-2111 FAX 052-953-4576

合の把握及び登録患者の死亡確認が行われている。

表1. 愛知県がん登録の特徴

- ・県衛生部の直営事業。
- ・人口が多い。
- ・医療機関からの自主届出のみに依存。
- ・届出票の大幅簡素化。

3. 届出状況

平成9(1997)年における届出数は 19,121 件、平成6(1994)年罹患数は年間 18,010 人で、この時のDCN割合は30.8%、I/D比は1.60であった。また、平成6(1994)年の全部位がんの年齢調整罹患率は人口10万対で、男212.9、女143.0であった。

4. 課題

- 1) 新時代のニーズへの対応: 近年の情報ネットワークの発達に伴い、インターネット・ホームページを利用した県のがん統計資料の発信を、平成10(1998)年2月より開始した。今後、地域を中心としたがんの一次・二次予防を推進していくための、県民に還元できる情報構築を目指す。
- 2) 自主届出の向上: 届出精度の地域差、各医療機関のがん登録に対する理解度、時代の要請に応えた還元情報の再考等の視点から、届出の不

備を改善していく必要がある。

3) 国際的水準を意識した登録システムの開発: わが国には、国家あるいは地域独自の社会のシステムや常識があり、時にそれが、がん登録を国際的水準に引き上げる際の妨げになっていることがある。現在の日本の行政システムを許容しつつ、その中に国際的水準のがん登録を根づかせ、維持すべく、その方策に取り組む必要がある。

5. 今後の対応

上記のさまざまな課題に対応するとともに、地域がん登録の役割を再確認し、その強化及び合理化を図るために、愛知県では、平成10(1998)年度の老人保健強化推進特別事業を活用し、地域がん登録の新システムを構築中である。新システムでは、1) 従来県衛生部の直営であった体制を見直し、県のがん中核施設であるがんセンターと、地域保健の中心である保健所とを加えた総合体制を確立すること、2) 県内医療機関の院内がん登録システムの整備を図り、特に大・中病院における情報管理を容易にし、届出を合理化すること(具体的には汎用アプリケーションを利用した院内がん登録入力ソフトの開発と普及)、3) 届出項目の追加により、がん予防対策に必要なデータを収集・解析し、地域に広く情報提供を図ることを具体的な狙いとしている。新システムは平成11(1999)年1月より開始となる(図2)。

図2. 新しい愛知県地域がん登録事業の流れ

